

# 農業の多様な業務から、自分の好きと得意を見つける NPO法人 MUKU (淡路市)



## 経緯

- ・代表の福井宏昌さんは、発達障害と診断された子供を持つ友人から、自立支援の相談を受けたことをきっかけに、2016年、大阪で児童発達支援・放課後ディサービスに携わる会社を設立。
- ・いずれは自然豊かな場所での就労支援を考えていたところ、淡路島の知人から島内での支援活動を勧められる。活動場所を探しているうちに、耕作放棄地が増えている現状を知ることになり、農業を通じた就労支援を考えるようになった。
- ・2021年1月にNPO法人MUKU（ムク）を設立。淡路市内の耕作放棄地57aを借りて様々な野菜の栽培を始める。2022年8月から淡路市岩屋に収穫物などを販売するため、クラウドファンディングを活用し、MUKUマルシェ（直売所）を開店。

## 取組内容

- ・現在、さつまいも（安納芋、紅はるか）をメインに、農薬と化学肥料を使わず栽培。さつまいもは、直売所、ホームページのほか淡路島内にある産直店等で販売。冬は焼きいもやブリュレ、いも天。夏には安納芋の生シェイクなど加工して直売所で販売している。
- ・現在8名いる利用者は、苗の定植や収穫等の農作業と直売所での加工・販売等に従事。農業は栽培から販売まで多様な業務があるので、自分たちの好きなところや得意なところで働いている。
- ・工賃をアップして利用者の待遇を良くするためには、売上を伸ばす必要があるため、デザインの専門家にMUKUのロゴマークや商品ラベルの制作を委託し、商品のデザイン性を向上させた。

## 今後の展望等

- ・高齢となった農業者が後継者がいないため、今まで耕作していた農地の借り手を探しているという話をよく聞く。耕作放棄地の解消のためにも、福祉事業所がそういったところを担っていけるようなモデルを作りたい。
- ・将来的には、動物を飼うなどして人が畑に集まるファームビレッジ的な環境を作り、多世代の多様な人たちが自分の好きなことや得意なことで働いたり、繋がったり、体験できる地域に開かれた福祉事業所にしたい。